

【中学校 数学】

《おおむね理解している問題》

◇ 与えられたデータから最頻値を求める問題。

正答率：約 8 割

- ・車型ロボットが 10 cm の位置から進んだ距離について調べた結果から「最頻値」を求めることができません。

《課題がみられた問題》

◆ 目的に合わせて等式を変形する問題。

正答率：約 5 割

- ・等式 $6x + 2y = 1$ を y について解くことは、 $y = \square$ の形に変形することであると判断し、適切に等式を変形することに課題がみられます。

課題がみられた問題

2 等式 $6x + 2y = 1$ を、 y について解きなさい。

《今後の学習の手立て》

本問題は、ある文字について解くことの意味が理解できているか、また、等式の性質に基づいて、等式を変形することができるかをみる問題でしたが、つまり生徒が多くみられました。「 y について解く」とは、「 $y = \square$ の形に等式を変形すること」であると確認する必要があります。このような身につづらい数学的な表現については、機会を見つけて確認していきます。

また、「 $2y = -6x + 1$ 」を $y = \square$ に変形するときは、 $-6x$ と 1 の両方を 2 で割る必要があります。この計算でつまりいたと考えられる生徒が複数いたことも文部科学省の報告書で示されています。改めて、文字式の計算が正しくできるように徹底を図っていきます。

生徒質問調査からみられた好ましい傾向

菟野町の子どもたち

自分には
よいところがある
83.7%
(全国 83.3%)

いじめは
どんな理由があっても
いけないことだと思う
97.8%
(全国 95.7%)

学校に行くことが
楽しい
88.7%
(全国 83.8%)

先生は
自分の良いところを
認めてくれている
91.4%
(全国 90.4%)

※子どもたちが生徒質問調査で肯定的に回答した割合が全国より高かった設問より

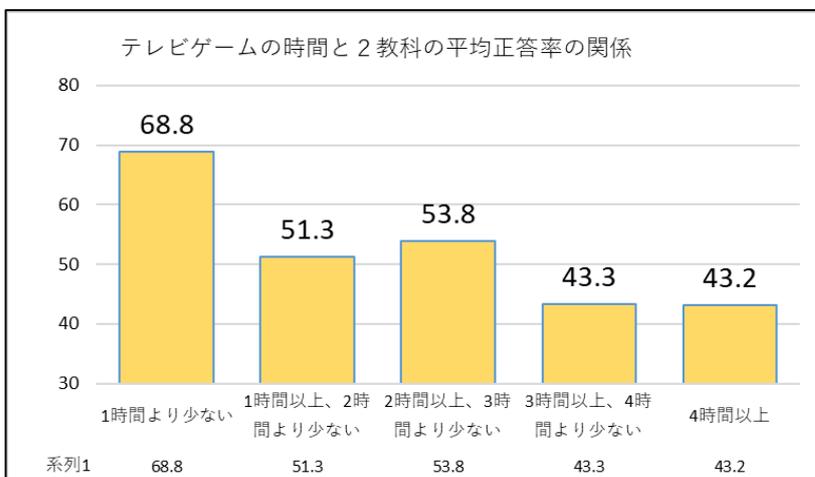
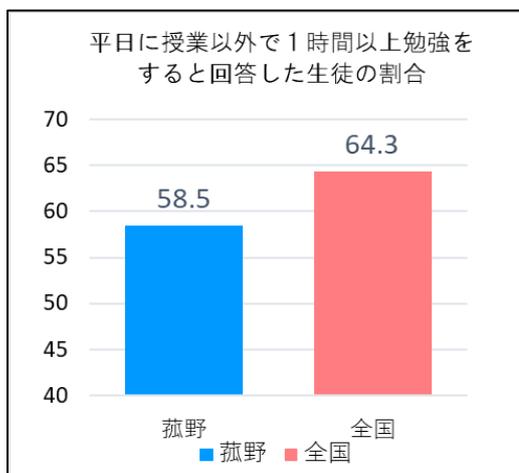
菟野町では、教育活動全体において、子どもたちを認めたり、考えや思いを受け止めたりしながら自己肯定感を育むこと、互いに認め合い支え合える人間関係づくり、安心して学べる学習環境づくりを大切にまいりました。今後も、子どもたちが将来の夢や目標の実現に向かって可能性を伸ばしていけるよう、一人ひとりのよさを認めたり、達成感を味わわせたりする教育活動を進めてまいります。

また、菟野町の子どもたちは、保護者・地域の皆様に支えられ、すこやかに成長しています。今後も保護者・地域の皆様と連携・協働して地域ならではの特色を生かした学校づくりを進めてまいります。

ご家庭でお願いしたいこと

生徒質問紙調査からみられた課題

Q 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか



授業以外で1時間以上勉強をしていると回答した生徒の割合は、昨年度に引き続き全国と比べて低く、低下傾向にあります。

テレビゲーム（コンピュータや携帯、スマートフォンを使ったゲームを含む）を長時間している生徒ほど、2教科の正答率が低い傾向にあります。

家庭で学習する習慣を身につけさせましょう

子どもたちに学校で学習した内容を定着させるためには、家庭での学習習慣を身につけさせることがとても重要です。繰り返しの練習や授業の予習・復習に日常的に取り組むことで、基礎・基本が確実に定着していきます。

子どもたちが毎日の家庭学習に取り組むことができるように、励ましの声かけや学習に集中して取り組める環境づくりにご協力をお願いします。

また、ゲームをする時間やスマートフォン、タブレットの使用時間が長時間とならないように、見守りや声かけもお願いします。

菰野町では、家庭学習の充実のために「家庭学習の手引き」を作成し、子どもたちと保護者の皆様に配付しています。「家庭学習の手引き」をご活用いただき、お子さんと一緒に家庭学習の取り組みについて、振り返っていただきますようお願いいたします。

保護者・地域の皆様へ

菰野町では、学校と教育委員会が一体となって、子どもたちの「確かな学力」の育成をめざして、子どもたちが「わかる・できる喜び」を実感できる授業改善と学力向上に向けた取り組みを進めてまいります。

今後も、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。